

Atrust

AUTO SETUP ユーザーガイド

Version 2.00

Copyright © 2014-15 Atrust Computer Corp.

Copyright Notices

Copyright © 2014-15 Atrust Computer Corp. All rights reserved.

This document contains proprietary information that is protected by copyright. No part of this document may be photocopied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Atrust Computer Corp.

Disclaimer

Atrust Computer Corp. ("Atrust") makes no representations or warranties with respect to the contents or use of this document, and specifically disclaims any express or implied warranties of merchantability or fitness for any particular purpose. Atrust is not liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is subject to change without notice.

Trademark Statements

Atrust is a trademark of Atrust Computer Corp.

Other product names mentioned herein are used for identification purposes only and may be trademarks and/or registered trademarks of their respective companies.

Contents

Auto Setup環境の構築	5
Step 1: Web/FTPサーバーの構築	6
Step 2: 検証用INIファイルのWeb/FTPサーバーへの設置	12
Step 3: DHCPサーバーの構築、またはDHCPの無い環境での構築	12
Step 4: 検証用INIファイルのテスト	17
Step 5: オンラインINIファイルの作成	19
ファームウェアの自動インストール/アップデート	21
Step 1: Web/FTPサーバーへのファームウェアファイルの配置	22
Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化(Webサーバーのみ)	24
Step 3: INIファイル内のファームウェア関連の指定	25
証明書の自動取得	27
Step 1: Web/FTPサーバーへの証明書ファイルの配置	28
Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化(Webサーバー使用時のみ)	30
付録A: INIファイルの作成	31
付録B: ユーザー権限(User Privilege)の設定	33
付録C: 端末のリセット	36

1

Auto Setup環境の構築

Auto Setupは、端末が起動する際に事前設定内容をネットワーク経由(DHCP、Web/FTPサーバー)で読み込み、自動的に任意のユーザ環境を適用する機能です。

この機能を使用するには下記の環境が必要です。

- Auto Setup環境
- Auto Setup対応端末
- ネットワーク環境(事前設定を取得するため)
- 接続先サービス(仮想、リモートデスクトップ/アプリケーション等)

この章では、Auto Setupに必要な環境の構築について説明します。下記の手順により必要な環境を構築する事が可能です。

Step 1: Web/FTPサーバーの構築

Step 2: 検証用INIファイルのWeb/FTPサーバーへの設置

Step 3: DHCPサーバーの構築、またはDHCPの無い環境での構成

Step 4: 検証用INIファイルのテスト

Step 5: オンラインINIファイルの作成



注意

- Web、FTP、DHCP等のサービスは様々なOSで構築可能ですが、弊社では下記環境にて検証を行っており、もし評価段階の場合ではこれらのご使用を推奨いたします。

✧ Windows Sever 2003 R2

✧ Windows Sever 2008 R2

✧ Windows Sever 2012 R2

Step 1: Web/FTPサーバーの構築

端末が事前設定をWeb/FTPサーバーから読み込むためには、下記の手順で構築する事ができます。(WebかFTPのどちらかのみ使用します。以降では使用する方のみ実施してください。)

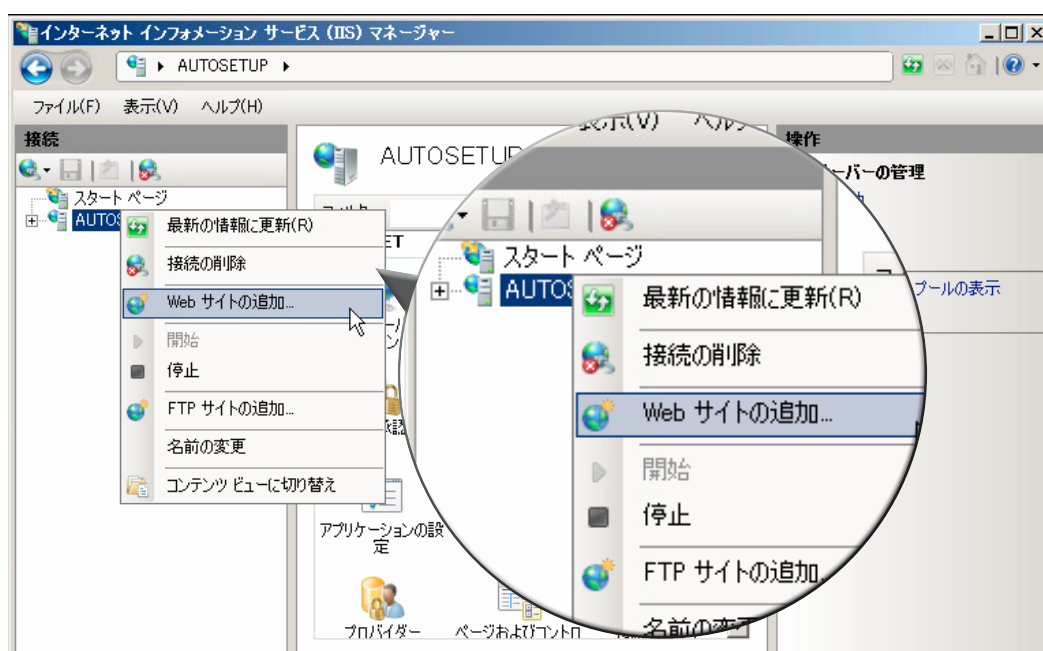


注意

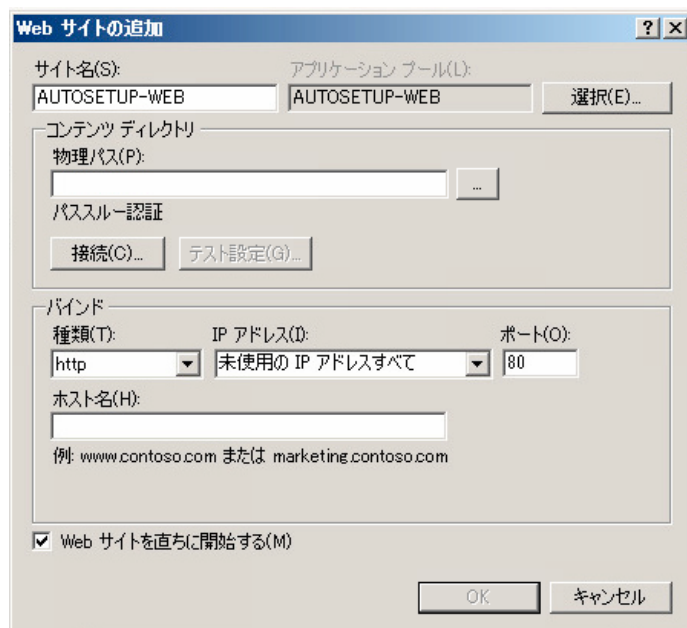
- ここでの説明は、Windows Server 2008 R2でのWeb/FTPサーバーの構築方法をベースにしています。他のOSやエディションによっては違う手順となります。

Webサーバーの構築

1. Webサーバー(IIS)を用意します。
2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
3. **スタート → 管理ツール → インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー**の順に選択してインターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
4. 左側の接続ペインでローカルホスト名を右クリックし、**Webサイトの追加**を選択します。

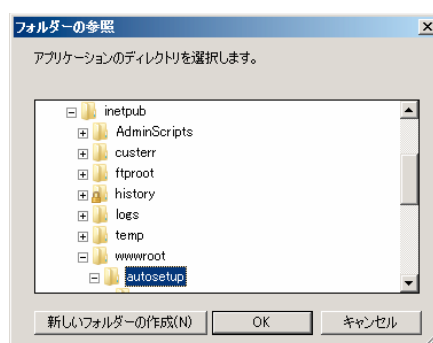
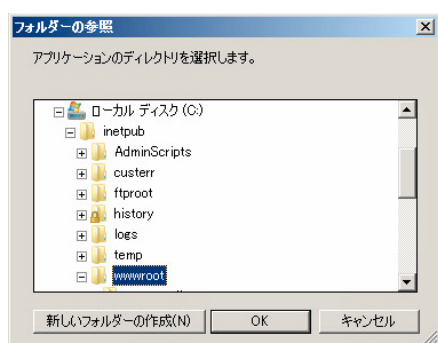


5. 開いたダイアログで任意のサイト名を入力します。

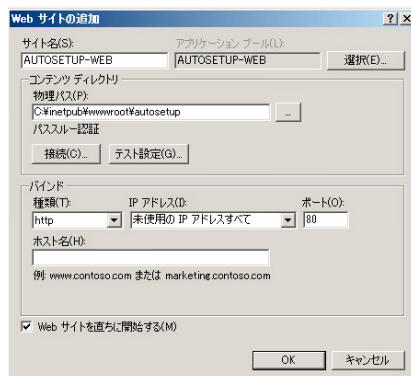


6. INIファイルを配置するフォルダを指定します。

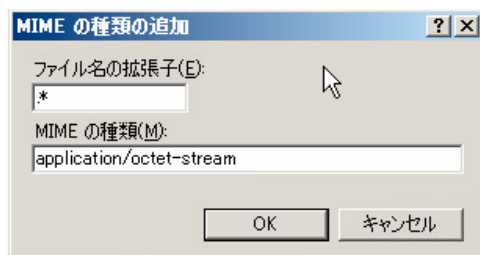
- (a) コンテンツディレクトリ欄で「参照」を押し、INIファイルの置き場所を指定します。
- (b) **Cドライブ** → **inetpub** → **wwwroot**と選択して**新しいフォルダーの作成**を押し、**autosetup**という名前のフォルダを作成します。



- (c) autosetupフォルダを指定して**OK**を押すと、物理パスとして **C:¥inetpub¥wwwroot¥autosetup** が入力されますので確認したら**OK**を押してダイアログを閉じます。



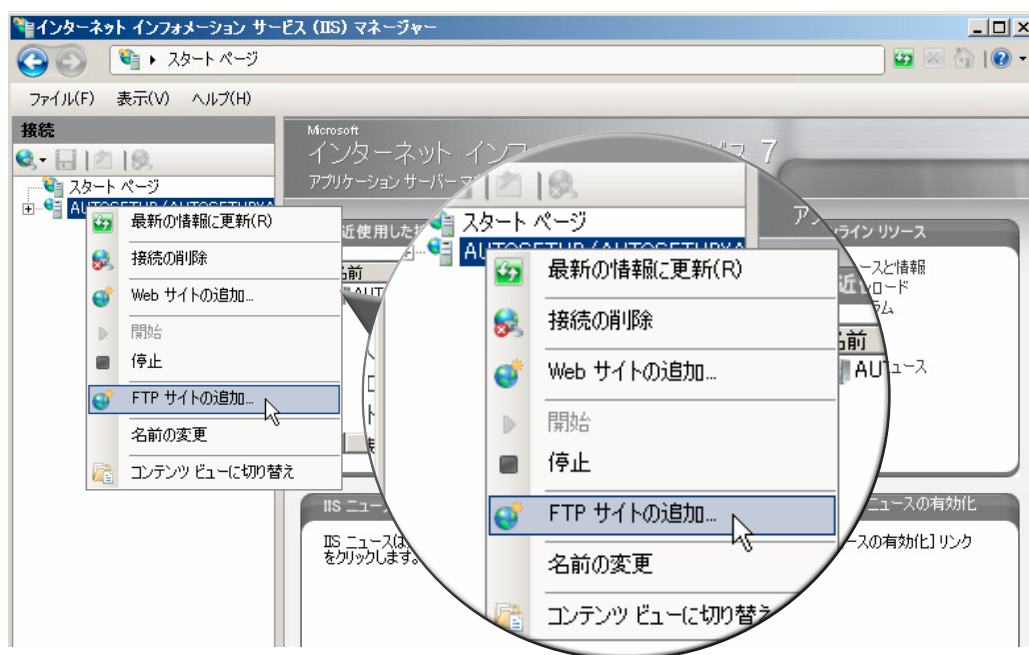
7. バインド欄にてドロップダウンメニューから自己IPアドレスを選択します。
8. OKを押してWebサイトの追加を完了させます。
9. MIMEタイプの設定を行います。
 - (a) 左側の接続ペインにて先ほど作成したWebサイトをクリックし、中央のペインに表示されている **MIMEの種類**  をダブルクリックします。
 - (b) 右上の「追加」を押してダイアログを開いたら下記画像の様に指定します。(ファイル名拡張子:「.*」、MIMEの種類:「application/octet-stream」)



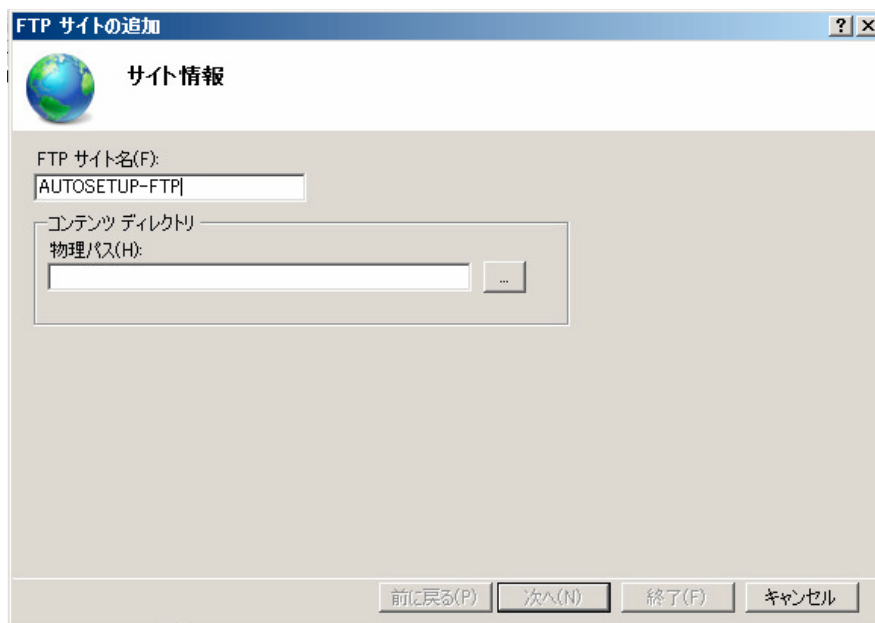
- (c) **OK**を押し、ダイアログを閉じます。

FTPサーバーの構築

1. FTPサーバー(IIS)を用意します。(サーバーマネージャーの**役割の追加**で**FTPサーバー**を選択する必要があります。)
2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
3. **スタート → 管理ツール → インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー**の順に選択してインターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
4. 左側の接続ペインでローカルホスト名を右クリックし、**FTPサイトの追加**を選択します。

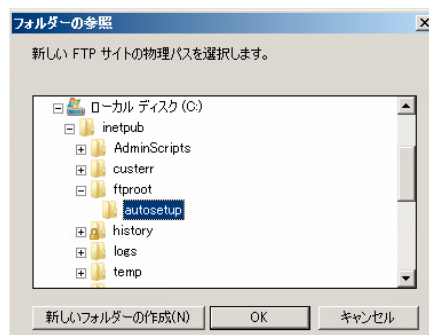
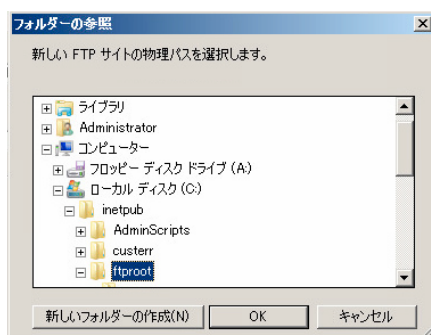


5. 開いたダイアログで任意のサイト名を入力します。

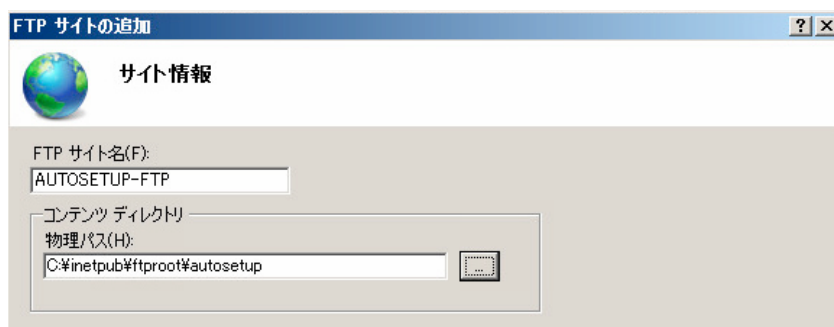


6. INIファイルを配置するフォルダを指定します。

- (a) コンテンツディレクトリ欄で「参照」を押し、INIファイルの置き場所を指定します。
- (b) Cドライブ → inetpub → ftprootと選択して「新しいフォルダーの作成」をクリックし、「autosetup」という名前でフォルダを作成します。



- (c) autosetupフォルダを選択して「OK」を押すと、物理パスとして `C:\inetpub\ftproot\autosetup` が入力されますので確認したら「OK」を押します。



(d) **次へ**を押します。

7. バインド欄でドロップダウンメニューから自己のIPアドレスを選択し、SSL欄では「無し」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

FTP サイトの追加

バインドと SSL の設定

バインド

IP アドレス(A): 192.168.1.155 ポート(P): 21

☐ 仮想ホスト名を有効にする(E):
仮想ホスト (例: ftp.contoso.com)(V):

☒ FTP サイトを自動的に開始する(S)

SSL

☒ 無し(S)
☐ 許可(O)
☐ 必要(R)

SSL 証明書(C): 未選択 表示(W)...

前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル



注意

- FTPへのSSL接続はAuto Setup環境でサポートされていません。

8. 認証欄で**匿名**、承認欄のドロップダウンメニューで**匿名ユーザー**、そしてアクセス許可で**読み取り**を、それぞれ選択またはチェックして**終了**をクリックします。

FTP サイトの追加

認証および承認の情報

認証

☒ 匿名(A)
☐ 基本(B)

承認

アクセスの許可(C): 匿名ユーザー

アクセス許可

☒ 読み取り(D)
☐ 書き込み(W)

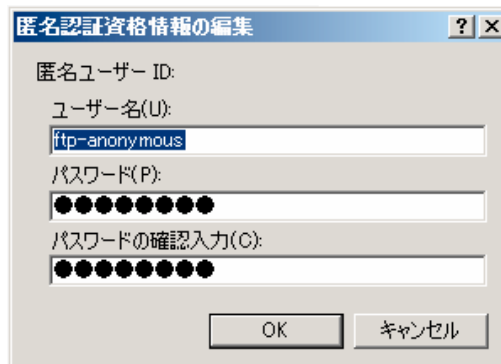
前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

9. 匿名ユーザーの認証情報を設定します。

- (a) 左側の接続ペインから新しく作成したFTPサイトをクリックし、中央のペインで**FTP認証**  をダブルクリックします。



- (b) **FTP認証**ペインで**匿名認証**をクリックしてから画面右側の**編集**をクリックします。
- (c) 開いた画面で匿名ユーザーに使用するユーザー名とパスワードを入力し、**OK**をクリックして適用します。



ヒント

- 初めてAuto Setup環境を構築する場合は、検証用に作成したINIファイルでまずテストをする事を推奨いたします。INIファイルの詳細については **Step5 : オンラインINIファイルの作成** (19ページ)をご参照ください。

Step 2: 検証用INIファイルのWeb/FTPサーバーへの設置

端末が事前設定を読み込めるように、Web/FTPサーバーにINIファイルを配置するために下記を実施してください。

1. Web/FTPサーバーに管理者アカウントでログインします。
2. 下記のフォルダを開きます。
 - **Webサーバー使用の場合**：C:\inetpub\wwwroot\autosetup
 - **FTPサーバー使用の場合**：C:\inetpub\ftproot\autosetup
3. 「付録A：INIファイルの作成」を参照してINIファイルを作成します。
4. このINIファイルを先ほどのフォルダにコピーします。



ヒント

- 初めてAuto Setup環境を構築する場合は、検証用に作成したINIファイルでまずテストをする事を推奨いたします。INIファイルの詳細については **Step5：オンラインINIファイルの作成** (19ページ)をご参照ください。

Step 3: DHCPサーバーの構築、またはDHCPの無い環境での構築

DHCPサーバーの構築

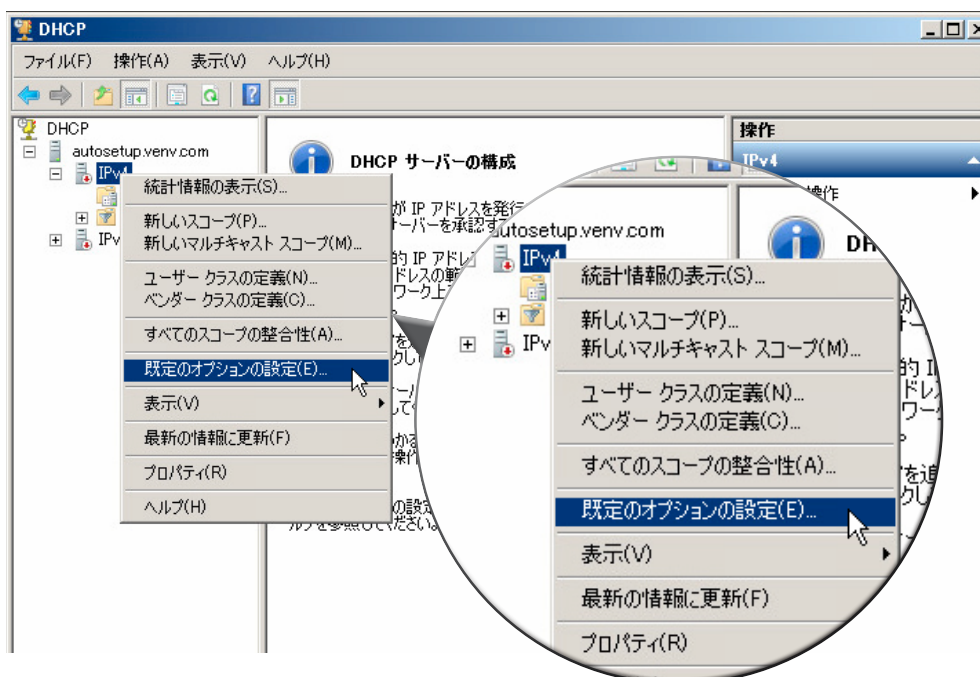
DHCPサーバーを構築するには下記の手順を実施してください。



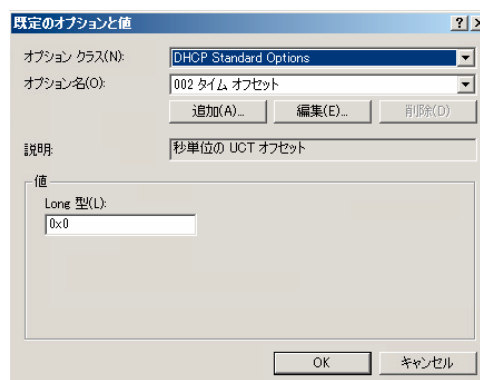
注意

- ここでの説明は、Windows Server 2008 R2(Enterprise Edition)でのDHCPサーバーの構築方法をベースにしています。他のOSやエディションによっては違う手順となります。

1. DHCPサーバーを用意します。
2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
3. **スタート → 管理ツール → DHCP**の順に選択してDHCPの管理コンソールを起動します。
4. Auto Setup環境でDHCPサーバーが端末に配信する3つのカスタム設定値を追加します。
 - (a) 画面左側のペインでツリーを展開して**IPv4**を右クリックし、**規定のオプションの設定**を選択します。



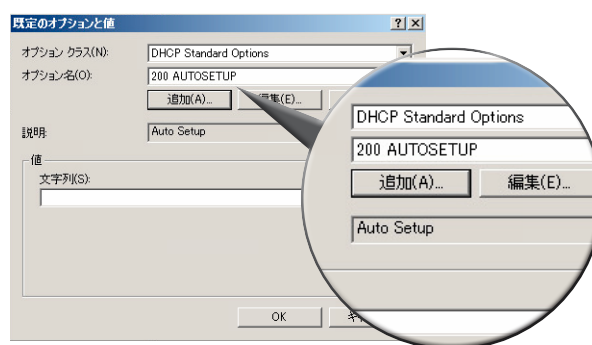
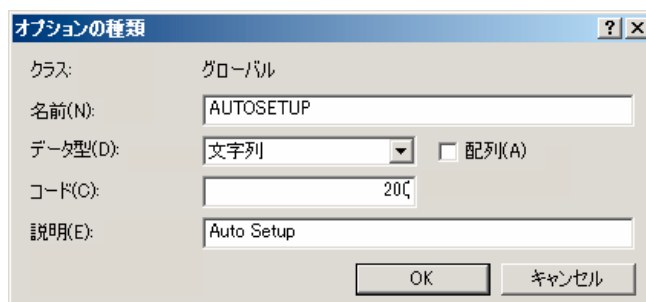
(b) 開いたダイアログで**追加**ボタンをクリックします。



追加する設定値

データ型	コード	用途
文字列	200	Web/FTPサーバーのアドレスを指定します。
文字列	201	FTPサーバー使用時におけるアカウント名を指定します。
文字列	202	FTPサーバー使用時におけるパスワードを指定します。

- (c) 開いた画面で、任意の**名前**、データ型のドロップダウンメニューで**文字列**、コードに**200**、そして**説明**の文章(入力は任意)をそれぞれ選択または入力し、**OK**ボタンをクリックします。追加されたオプションがオプション名のドロップダウンメニューに表示されます。



- (d) (b)～(c)の手順を繰り返し他の2つの設定値を追加します。

- **データ型** : 文字列、コード : 201 (任意の名前と説明。)
- **データ型** : 文字列、コード : 202 (任意の名前と説明。)



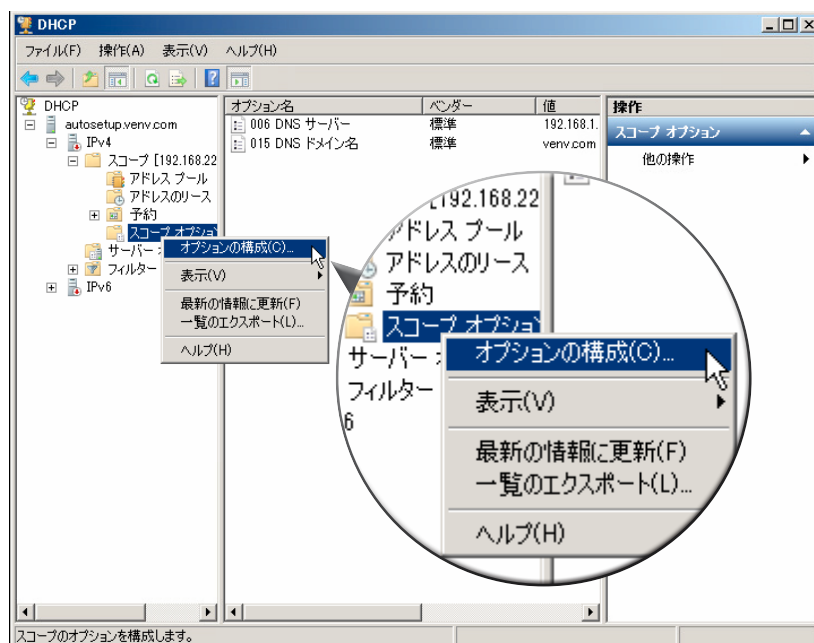
注意

- Auto Setup環境でWebサーバーを使用している場合、この2つのオプションは不要です。

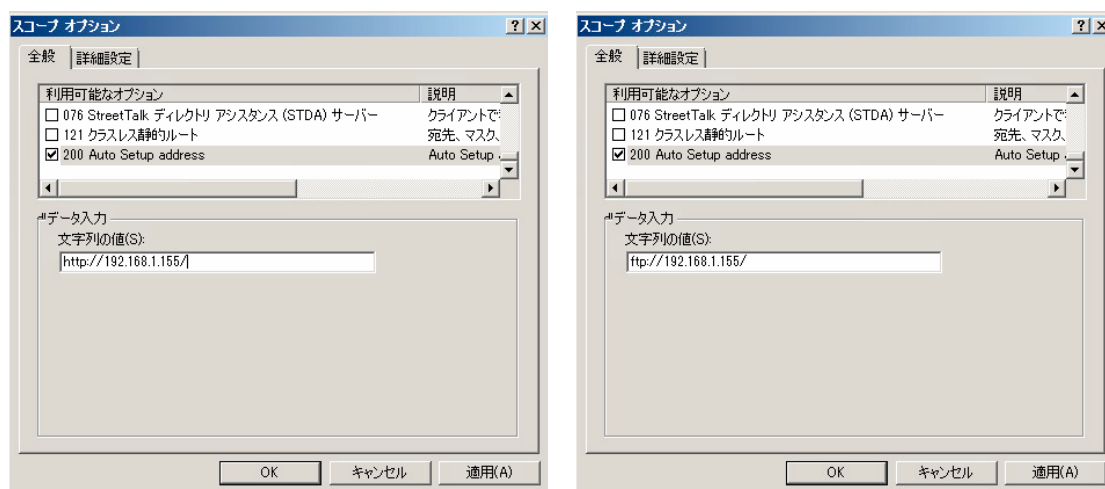
- (e) **OK**ボタンをクリックして画面を終了します。

5. 端末に配信するオプション値を追加します。

- (a) 画面左側のペインで**IPv4** → **スコープ**と展開して**スコープ オプション**を右クリックし、**オプションの構成**を選択します。



- (b) 開いた画面でスクロールバーを使用して200番のオプションを見つけたらチェックを入れ、さらに下の**文字列の値**としてHTTP(Web)またはFTPのアドレスを入力します。



- (c) **OK**ボタンを押して画面を閉じると、中央のペインに入力した値が表示されます。

オプション名	ベンダー	値	クラス
006 DNS サーバー	標準	<なし>	なし
015 DNS ドメイン名	標準		なし
200 Auto Setup address	標準	http://192.168.1.155/	なし

オプション名	ベンダー	値	クラス
006 DNS サーバー	標準	<なし>	なし
015 DNS ドメイン名	標準		なし
200 Auto Setup address	標準	ftp://192.168.1.155/	なし

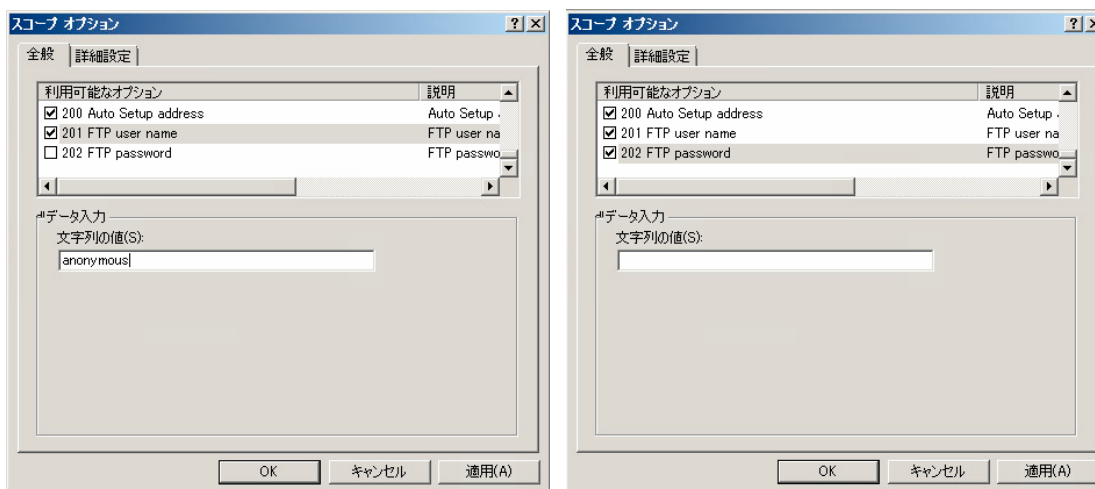
6. FTPサーバーの為のアクセスアカウントのオプションを2つ追加します。



注意

- Webサーバー使用時はこの設定は必要ありません。

- 画面左側のペインで、**スコープオプション**を右クリックし、**オプションの構成**を選択します。
- 開いた画面でスクロールバーを使用し、201番と202番のオプションを見つけたらそれぞれチェックを入れ、201番はアカウント名として **anonymous** を入力します。(パスワードは何も入力しません。)



- OK**ボタンを押して画面を閉じ、中央のペインに入力した値が表示されている事を確認します。

オプション名	ベンダー	値	クラス
006 DNS サーバー	標準	<なし>	なし
015 DNS ドメイン名	標準		なし
200 Auto Setup address	標準	ftp://192.168.1.155/	なし
201 FTP user name	標準	anonymous	なし
202 FTP password	標準		なし

DHCPの無い環境でのクライアント設定

DHCPの無い環境で使用する場合、クライアントの設定として下記を実施してください。

1. 端末で固定IPアドレスを設定します。

- 端末にキーボード・マウス・モニターが接続されている事を確認し、モニターの電源を入れます。
- 端末が物理的に有線ネットワークに接続されている、または無線USB dongleが接続されている事を確認します。
- 端末を電源コンセントと接続し、電源を入れます。
- クイックコネクション画面で**設定アイコン** をクリックしてAtrust Client Setupを起動します。
- Atrust Client Setup上で、**ネットワーク → イーサネット(またはワイヤレス)**を選択し、端末の固定IPアドレスを設定します。

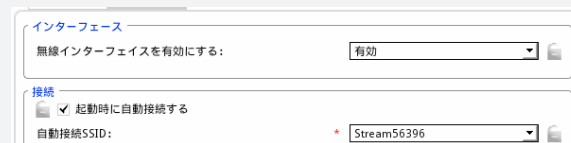


注意

- ワイヤレス接続を使用する場合：
 1. まず接続設定を作成します。
 2. 接続設定のチェックを入れ、**編集**を押してIPv4設定を行います。



3. **ワイヤレス**タブでこの接続設定を起動時の自動接続として有効にします。



2. 端末で使用するWeb/FTPサーバーの情報を設定します。

- (a) Atrust Client Setupにて、**システム → オートセットアップ**を選択します。

基本設定

☒ オートセットアップを有効化する

使用するインターフェース: イーサネット

Web/FTP サーバアドレス:

Web/FTP ユーザ名:

Web/FTP パスワード:

**この設定は、再起動後に有効になります。*

- (b) 使用するインターフェースを選択します。(イーサネットまたはワイヤレス)



注意

- オートセットアップに使用する正しいインタフェースを選択する必要があります。端末が一度ネットワークから設定を取得すると、インターフェースを含む全ての設定値がロックされます。

- (c) Auto Setupで使用するWeb/FTPサーバーのアドレスを入力します。
- (d) 必要な場合はWeb/FTPサーバーにアクセスする資格情報を入力します。
- (e) **保存**をクリックして適用します。

Step 4: 検証用INIファイルのテスト

検証用INIファイルを使用して、Auto Setup環境の構築操作に誤りが無いかどうかテストする事を強く推奨いたします。

検証用INIファイルを作成するには**付録A：INIファイルの作成**(31ページ)を参照して詳細を確認してください。

Auto Setup環境と端末の動作をテストするには下記を実施してください。

**注意**

- ご使用の端末がAuto Setup対応かどうか予めご確認ください。

**注意**

- 一度端末がネットワークから設定内容を取得すると、別の設定内容を取得するまでそれが保持されます。そのため、事前に端末がデフォルトの状態であることを確認してください。さもないとデバイスが正しく設定を読み込んだか古い状態のままかを判断できません。
- ネットワーク経由で設定を読み込んだ後、もし設定をデフォルトに戻したい場合は**付録B：端末のリセット**(33ページ)を参照し、リセットを行ってください。
- 既存の設定に対し編集または追加をする場合、他の設定値は変更しないでください。

1. 端末にキーボード・マウス・モニターが接続されている事を確認し、モニターの電源を入れます。
2. 端末が物理的に有線ネットワークに接続されている、または無線USB dongleが接続されている事を確認します。
3. 端末を電源コンセントと接続し、電源を入れます。
4. 下記の場合は、いくつかの設定に対して手動で設定、および再起動の必要があります。
 - **DHCP環境が無い場合**：「DHCPの無い環境でのクライアント設定」(16ページ)を参照して固定IPアドレスやWeb/FTPサーバーの設定を行ってください。
 - **ワイヤレスネットワーク使用の場合**：画面右下のネットワークアイコンをダブルクリックしてまず接続設定を作成し、そして「IPv4設定」でネットワークを設定します。そして「ワイヤレス」タブでこの接続設定を起動時の自動接続として有効にします。
5. Auto Setup環境をテストします。
 - **失敗時**：端末はクイックコネクション画面で起動します。
 - **成功時**：端末はAuto Setupで設定された内容で起動します。また、Auto Setupで設定された全ての値はロックされます。



Step 5: オンラインINIファイルの作成

実際の運用に使用するオンラインINIファイルを作成するには下記の内容を実施してください。

2種類のINIファイル

使用可能なINIファイルには2種類あります。ファイル名、対象、要件、そして優先順位については下記となります。

タイプ	ファイル名	対象	要件と優先順位
Global	autocfg.ini	全ての端末が対象です。	GlobalタイプはAuto Setup環境において必須です。
Specific	xyyyzz.ini	MACアドレスの下6桁xyyyzzの端末のみが対象です。	SpecificタイプはGlobalタイプより優先されます。



注意

- Atrust Auto Setup Creatorで作成したINIファイル(autocfg.ini)をリネームし、SpecificタイプのINIファイルとする事ができます。

4

ファームウェアの自動インストール/アップデート

以下の説明では、端末に対する起動時の自動ファームウェアインストール/アップデートについてご案内いたします。下記の手順を実施して内容をご確認ください。

Step 1: Web/FTPサーバーへのファームウェアファイルの設置

Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化

Step 3: INIファイル内のファームウェア関連の指定



注意

- ワイヤレスネットワークでのファームウェアインストール/アップデートはサポートされていません。



注意

- ここでの説明は、Windows Server 2008 R2 Enterprise EditionでのWeb/FTPサーバーの構築方法をベースにしています。他のOSやエディションによっては違う手順となります。

Step 1: Web/FTPサーバーへのファームウェアファイルの配置

ファームウェアファイルをWeb/FTPサーバーへ配置するには下記を実施してください。

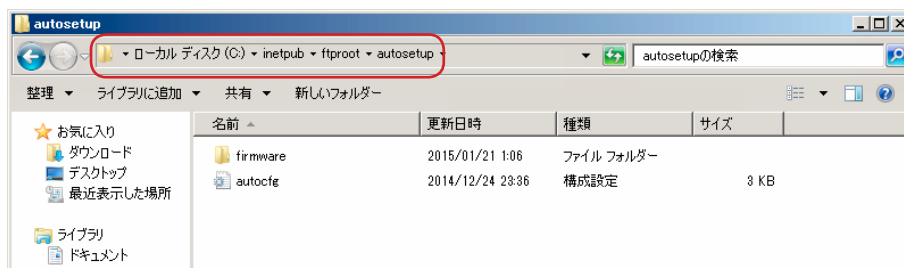
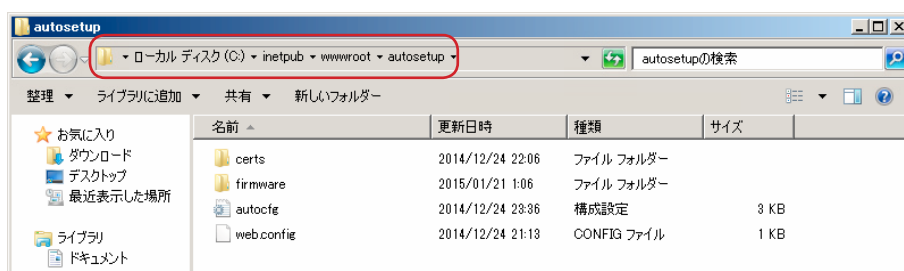
1. Web/FTPサーバーへ管理者アカウントでログインします。



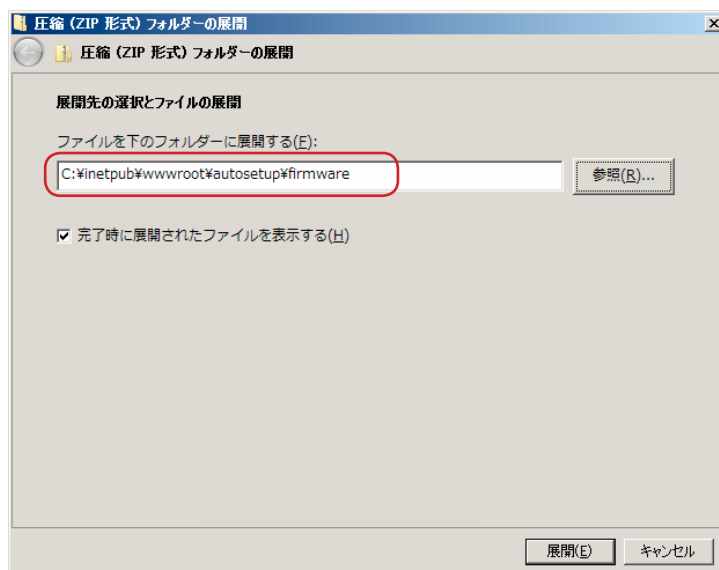
注意

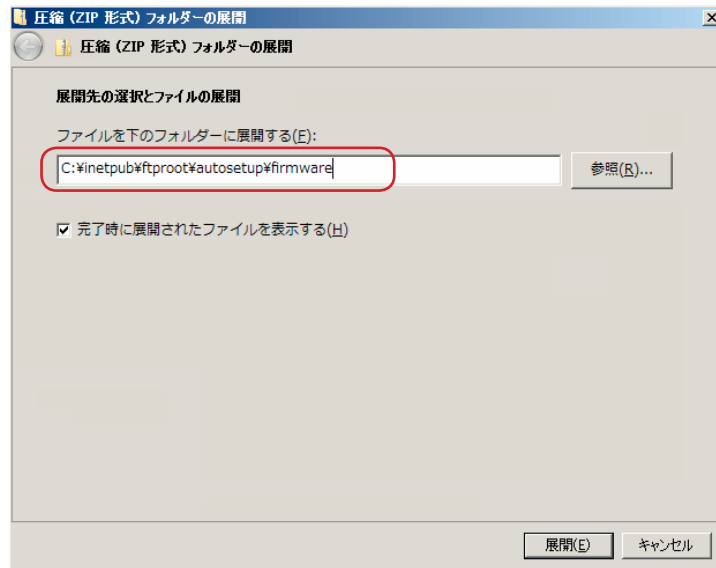
- この時使用するWeb/FTPサーバーは、INIファイル配置したものをご使用ください。

2. INIファイルを配置するフォルダをエクスプローラで開きます。(Webサーバー：C:\inetpub\wwwroot\autosetup、FTPサーバー：C:\inetpub\ftproot\autosetup) そしてその下に **firmware** というフォルダを新規作成します。

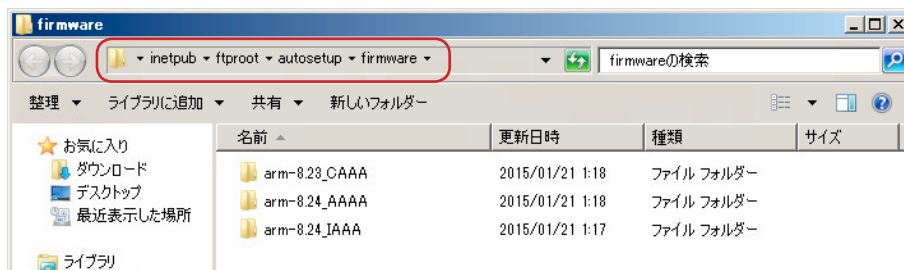
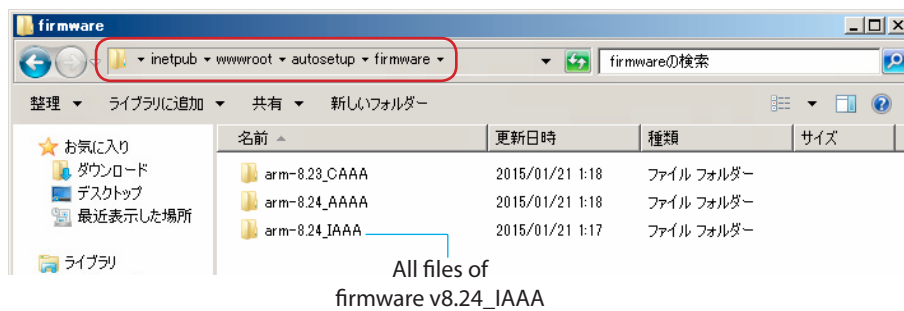


3. ファームウェアファイルをこの **firmware** フォルダ内に解凍して配置します。





4. すべての解凍されたファイルは、ファームウェアバージョンがフォルダー名になる形で配置されます。(例：C:\inetpub\wwwroot\autosetup\firmware\arm-8.xx_xxxx)



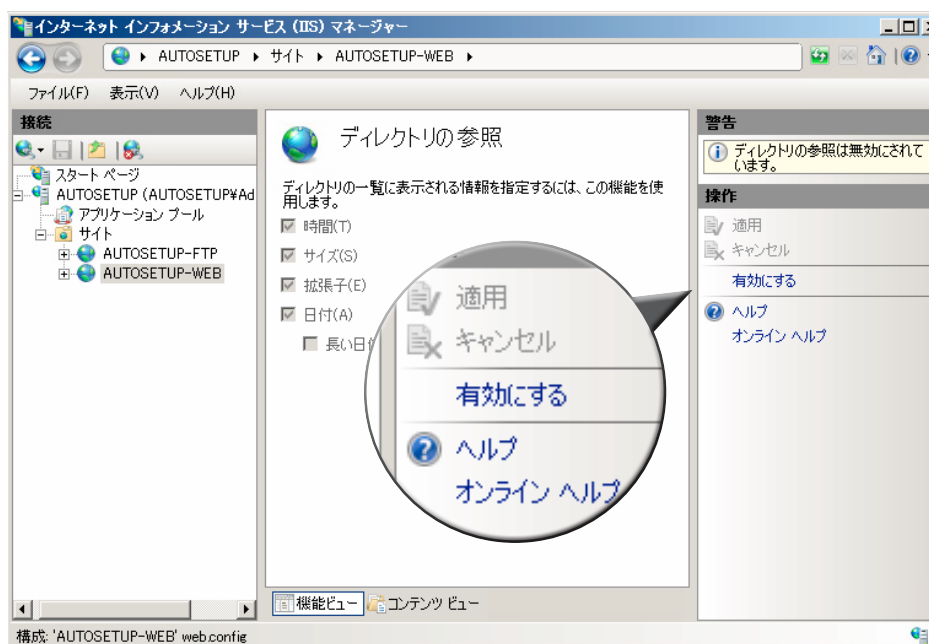
Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化(Webサーバーのみ)

Webサーバーにて「ディレクトリの参照」を有効にする為には下記を実施してください。

1. スタート → 管理ツール → インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーと選択し、インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
2. 左側の接続ペインから、Auto Setup用に作成したWebサイトを選択します。



3. 中央のペインで「ディレクトリの参照」をダブルクリックし、右側のペインで「有効にする」をクリックします。



Step 3: INIファイル内のファームウェア関連の指定

端末起動時に自動的にファームウェアのインストール/アップデートを行うには下記を実施してください。

1. Auto Setup Creatorを使用してINIファイルにファームウェアの指定を行います。(System - Firmware - Firmware Folder Nameにフォルダ名を入力します。)



注意

- 付録A：INIファイルの作成(31ページ)を参照してAtrust Auto Setup CreatorでのINIファイル作成方法を確認してください。

2. 編集済みのINIファイルをWeb/FTPサーバーに配置します。



注意

- もし設定をデフォルトに戻したい場合は「付録B：端末のリセット」(33ページ)を参照し、リセットを行ってください。

5

証明書の自動取得

仮想またはリモートのデスクトップ/アプリケーションへアクセスする際、証明書が必要になることがあります。下記の説明ではエンドポイントへ自動的に証明書を配布する方法についてご案内いたします。下記手順を実施して内容をご確認ください。

Step 1: Web/FTPサーバーへの証明書ファイルの配置

Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化 (Webサーバー使用時のみ)



注意

- ここでの説明は、Windows Server 2008 R2 Enterprise EditionでのWeb/FTPサーバーの構築方法をベースにしています。他のOSやエディションによっては違う手順となります。

Step 1: Web/FTPサーバーへの証明書ファイルの配置

証明書ファイルを配置するには下記を実施してください。



注意

- PEMまたはDER形式の証明書のみサポートされます。

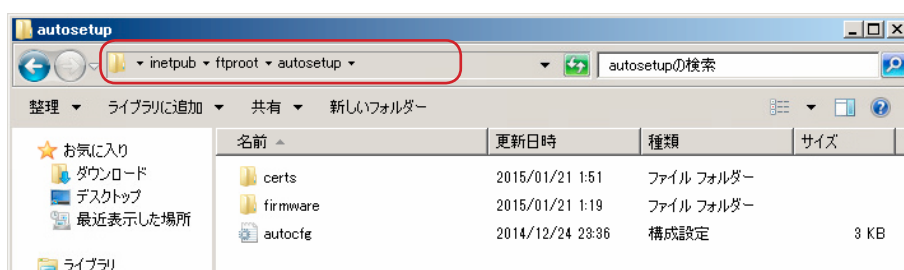
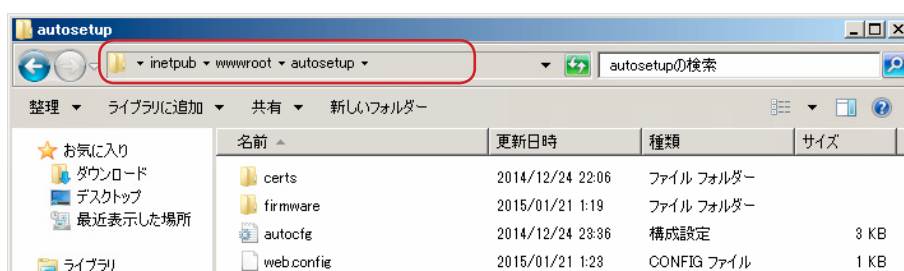
1. Web/FTPサーバーに管理者アカウントでログインします。



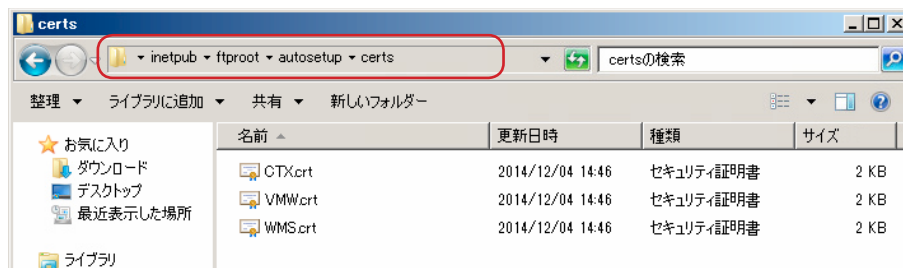
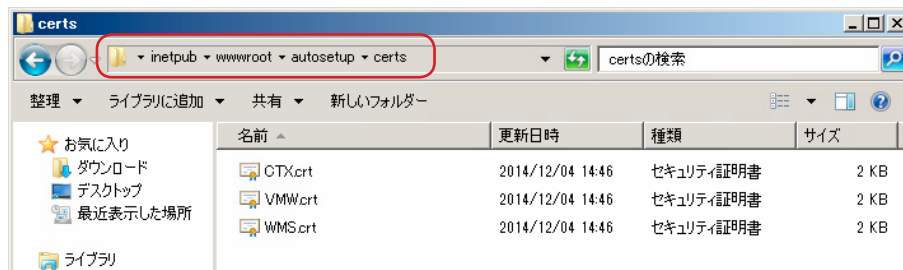
注意

- INIファイルを配置したのと同じWeb/FTPサーバーを使用します。

2. INIファイルを配置するフォルダをエクスプローラで開きます。(Webサーバー：C:¥inetpub¥wwwroot¥autosetup、FTPサーバー：C:¥inetpub¥ftproot¥autosetup) そしてその下にcertsというフォルダを新規作成します。



3. 全ての証明書ファイルをこのcertsフォルダにコピーします。(例：C:\inetpub\wwwroot\autosetup\certs\xxxxx.pem)



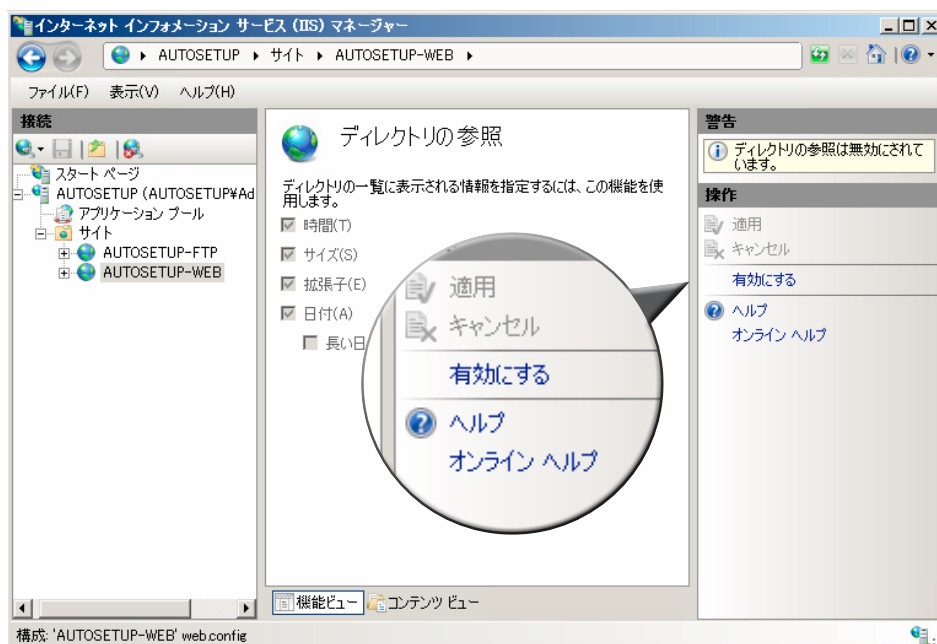
Step 2: Webサーバーへの「ディレクトリの参照」の有効化(Webサーバー使用時のみ)

Webサーバーにて「ディレクトリの参照」を有効にする為には下記を実施してください。

1. スタート → 管理ツール → インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーと選択し、インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
2. 左側の接続ペインから、Auto Setup用に作成したWebサイトを選択します。



3. 中央のペインで「ディレクトリの参照」  をダブルクリックし、右側のペインで有効にするをクリックします。これでサブフォルダーへのアクセスが有効化されます。



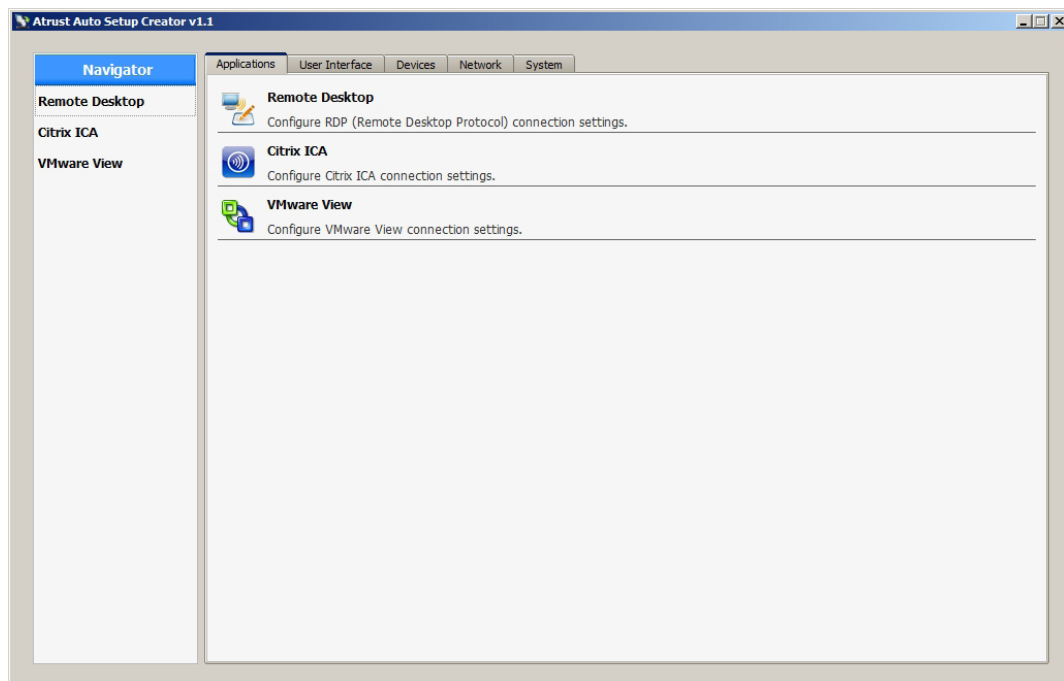
付録A:INIファイルの作成

サポートされるAtrust製品ではAtrust Auto Setup CreatorというGUIツールによりINIファイルの作成が可能です。作成には下記を実施してください。

1. Windows上の任意の場所にAuto Setup Creatorのzipファイルを解凍します。

名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
bin	2014/12/24 23:21	ファイル フォルダー	
data	2014/12/24 23:21	ファイル フォルダー	
Atrust Auto Setup Creator.exe	2014/12/12 20:13	アプリケーション	109 KB

2. Atrust Auto Setup Creator.exeをダブルクリックして起動します。



3. 起動したGUIツールにて設定を行います。

- 設定カテゴリ、項目を選択して値を指定します。(設定はACSと同じ要領で行う事が可能です。)
- 各設定項目ごとに**Save**を押して適用してください。



注意

- シンクライアントユーザーが行える設定の範囲を指定する事ができます。方法については「付録B：ユーザー権限 (User Privilege) の設定」(33ページ)を参照してください。

4. **autocfg.ini**というINIファイルが同じフォルダ内に自動的に作成されます。

名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
 bin	2014/12/24 23:21	ファイル フォルダー	
 data	2014/12/24 23:21	ファイル フォルダー	
 Atrust Auto Setup Creator.exe	2014/12/12 20:13	アプリケーション	109 KB
 autocfg.ini	2014/12/24 23:36	構成設定	3 KB



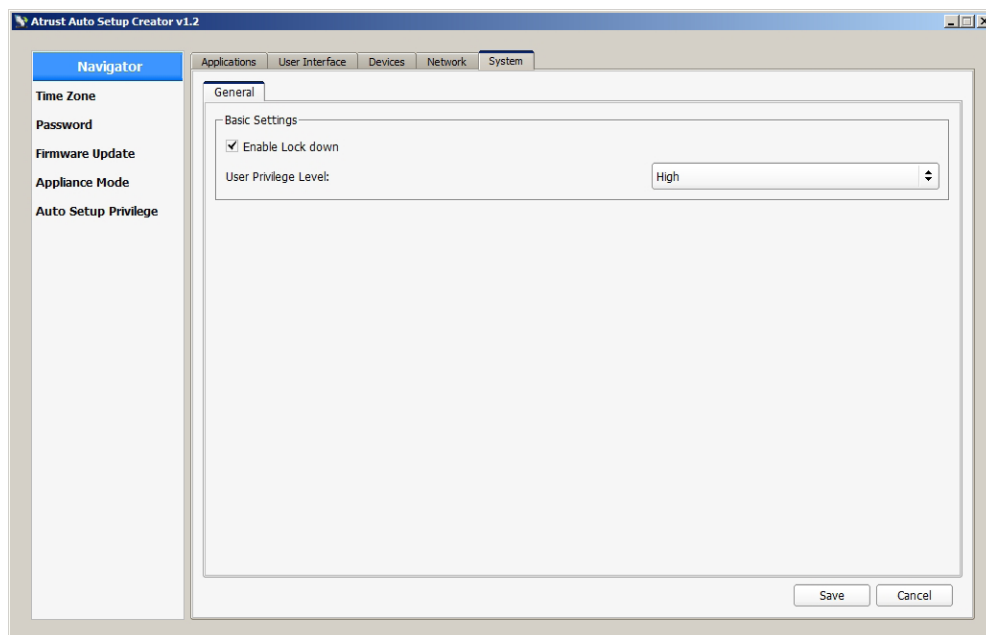
注意

- Auto Setup Creatorは同一フォルダーにあるautocfg.iniの設定値を読み込んで起動します。
- 同一フォルダーにautocfg.iniが無いまたは削除された場合、デフォルト設定値でAuto Setup Creatorは起動します。また、この時新しいautocfg.iniが作成されます。

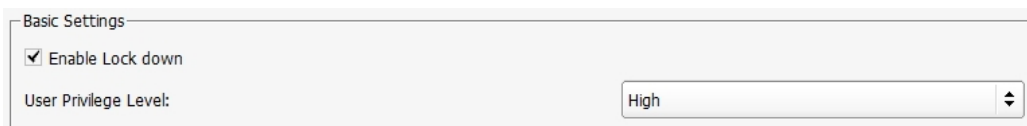
付録B:ユーザー権限(User Privilege)の設定

Atrust Auto Setup Creatorでは、シンクライアントユーザーが行える設定の範囲を指定する事ができます。このユーザー権限(User Privilege)を設定するには下記を実施してください。

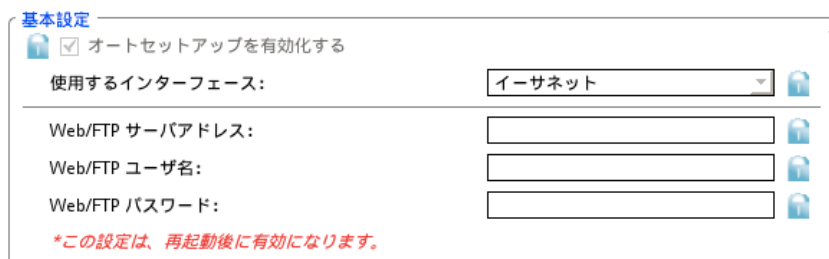
1. Atrust Auto Setup Creatorを起動し、**System** → **Auto Setup Privilege**を選択して下画面を表示します。



2. ロックをかける場合にはチェックを入れ、ユーザー権限レベルを選択します。



- ロックをかけるには **Enable Lock down** にチェックを入れます。これにより **Auto Setup Creator** で設定した値や **Auto Setup** の項目がユーザー側でロックされます。編集可能な項目はグレイのアイコン(🔒)、編集不可の項目はブルーのアイコン(🔑)で表示されます。



Atrust Client Setup内の
**Auto Setup (オートセ
ットアップ)** 設定

時間帯
標準時間: GMT+9:00

NTP
NTPサーバアドレス * pool.ntp.org

Atrust Client Setup内の
Time Zone (時間帯)
設定

- シンクライアントユーザーが行える設定の範囲を指定するには「User Privilege Level」の指定で行います。3つの権限レベル、High、Low、そしてNoneがあり、その内容については下記のテーブルの通りです。

User Privilege Level (ユーザー権限レベル)	使用可能な設定項目
High	アプリケーションタブ - Remote Desktop - Citrix ICA - VMware View - SSH ユーザインターフェースタブ - 表示 - デスクトップ - キーボード - スクリーンセーバ デバイスタブ - USBストレージ - オーディオ - プリンタ ネットワークタブ - イーサネット - VPN - ホスト - ホスト名 - ワイヤレス - プロキシ システムタブ - 時間帯 - パスワード - ファームウェアの更新 - アプライアンス モード - オートセットアップ (ロックされた状態が表示されます。) - クイック接続 - ターミナル - エラーレポート - 証明書マネージャ
Low	ユーザインターフェースタブ - 表示 - デスクトップ - キーボード - スクリーンセーバ システムタブ - 時間帯 - エラーレポート

None	システムタブ エラーレポート
------	--

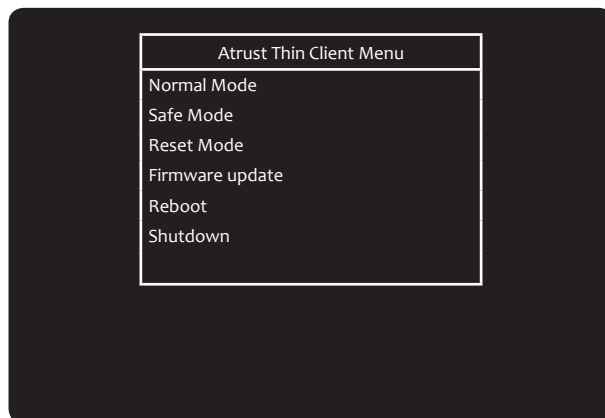
**注意**

- Auto Setup Creatorですでに設定された項目はロックされ、表示のみとなります。

付録C: 端末のリセット

シンククライアントの全ての設定値をデフォルトにする場合は、下記手順にてリセットを行います。

1. パワーLEDが消えている電源オフの状態です電源ボタンを長押しし、Atrust Thin Client Menuのモードで起動します。



注意

- メニューが表示されるまで5秒前後お待ちください。
- メニューでは下記の6つのオプションが表示されます。

メニューオプション	概要
Normal Mode	シンククライアント端末は通常の起動を行います。
Safe Mode	現在の画面解像度設定をクリアします。
Reset Mode	シンククライアント端末をファクトリーデフォルトにリセットします。
Firmware update	シンククライアント端末のファームウェアをインストール/アップデートします。
Reboot	シンククライアント端末を再起動します。
Shutdown	シンククライアント端末をシャットダウンします。

2. キーボードの矢印キーを使用して**Reset Mode**を選択し、**Enter**キーを押します。
3. 確認のメッセージが表示されますので、**y**を押します。
4. 完了したら**Enter**キーを押し、シンククライアントを再起動させます。

Atrust